

新しい公共支援事業の成果等報告
(新しい公共の場づくりのためのモデル事業分)

1. 成果等報告

モデル事業名	NPOと地域と未来をつなぐ新たなしくみづくりモデル事業
分類	<input type="checkbox"/> 一般枠 <input checked="" type="checkbox"/> NPO支援重点化枠 <input type="checkbox"/> 震災支援枠 (該当するものにチェック)
事業実施主体名	特定非営利活動法人「育て上げ」ネット 立川市
実施期間	平成23年8月1日から平成25年3月29日まで
支援額 (注釈参照)	8,167,600円 委託費 8,017,600円 諸謝金 150,000円
マルチステークホルダー(会議体)の取組状況	特定非営利活動法人「育て上げ」ネットと立川市は、モデル事業における全体のコーディネートを担い、特定非営利活動法人「育て上げ」ネット、特定非営利活動法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会、特定非営利活動法人市民活動サポートセンター・アンティ多摩は、モデル事業の実施主体となった。また、市民活動センターたちかわ、立川市自治会連合会は、市民活動団体や自治会との橋渡しとなるとともに、広報事業の役割を果たした。
事業概要	地域課題の解決のために、市内のNPOの情報収集を行うとともに、コーディネート型の地域人材の発掘と育成を目的にモデル事業を実施した。これらのNPO活動の基盤作りと並行して、市内3か所でNPOが自治会などの地縁団体と具体的な協働事業を展開することを通して地域における新たな課題解決のしくみ作りに向けた検証を行った。
事業内容	平成23年度 (1)地域における安心安全に向けた地域連携の検証事業 (2)地域における安心安全に向けた地域連携の検証事業報告会 (3)NPO等のネットワーク化に向けたキックオフフォーラム 上記事業については、市内柏町地区の自治会と小学校が連携して実施する防災訓練に向けた会議の場を利用し、ワークショップを実施することにより「協議の場」を実践的に検証した。会議体メンバーは、企画及び広報を担い、NPO法人「育て上げ」ネットは、地域の諸団体とともに協議の場に参加した。 平成24年度 (1)地域課題解決に向けたNPO等の協働事業を通じた新しい公共の仕組みの検証事業 ①NPO法人「育て上げ」ネットが、地域の商店街や自治会と協働して「御用聞き」事業を実施した。 ②NPO法人高齢社会の食と職を考えるチャンプルーの会が、自治会と協働して地域の高齢者を支えるしくみに向けた機運醸成のための連続講座を実施した。 ③NPO法人市民活動サポートセンター・アンティ多摩は、上記①、②の活動紹介を内容とする「協働ニュース」の発行と市民活動団体のマッチング会を実施した。 (2)NPO等の情報収集やネットワーク構築・人材育成による新しい公共基盤整備事業 (株)studio-Lに委託し、NPO等の情報収集を行い、団体へのヒアリングの実施及びワークショップ

	<p>プを通じて、担い手となる団体同士のネットワークの構築に向けた事業を実施した。また、そのネットワークの構築に不可欠な人材発掘事業も合わせて行った。</p>	
<p>得られた成果 及び自己評価</p>	<p>NPOへの支援においては、協働事業の積み重ねとその協働事業の情報発信のしくみを構築することにより、地域への認知度向上と地域からの信頼を得られることが実証できた。また、NPO等の情報収集やネットワーク構築・人材育成による新しい公共基盤整備に向けた事業を合わせて実施したことにより、協働事業を実施したということだけにとどまらず、市民活動支援を目的に平成25年2月にオープンした子ども未来センター協働スペースを拠点として展開する事業に、今回の成果をつなげることができた。今回の事業実施を通じて、NPOの支援のしくみの構築に向けた方向性を得られることができたのは、マルチステークホルダー・プロセスによるところが大きく、NPOを含めた地域の多様な団体が地域課題の解決に向けた協働事業を実施し、行政が協働事業を実施するための接着剂的な役割をすることで、地域への信頼につながったと言える。今後は、協働スペースを拠点として展開する事業において、地域やNPOから自発的な協働事業の提案が増え、その協働事業をコーディネートする団体や人材が発掘されていくものと考えている。</p>	
	<p>評価ラ ンク</p>	<p><input type="checkbox"/> S：特に優れた成果が得られた <input checked="" type="checkbox"/> A：優れた成果が得られた <input type="checkbox"/> B：一定の成果が得られた <input type="checkbox"/> C：限定的であるが成果が得られた <input type="checkbox"/> D：成果が得られなかった (該当する評価にレを付けてください。)</p>

(注) 当該支援額により取得し、又は効用の増加した価格が50万円以上の機械及び器具等がある場合、別葉にて、機械等の名称、価格、管理者及び耐用年数等を明記すること。

2. 添付書類

事業の実施内容及び実績に関する報告書